Relo / Sociated Repos	in of Academic resources
Title	特別な支援を必要とする人たちを対象としたキャンプの教育的効果と課題
Sub Title	The outcomes and issues of summer camp for people with special needs
Author	野口, 和行(Noguchi, Kazuyuki)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	様々な障害や疾患、または経済的な問題や家庭の問題などにより必要となる特別な配慮や支援の ことをスペシャルニーズと呼び、その人たちを対象としたキャンプのことをスペシャルニーズ・ キャンプ (SNC)と呼ぶ。本研究では、SNCを行っている団体を対象にした。 インタビュー調査の内容は、団体の概要、キャンプの対象、団体設立の経緯、活動場所、プログ ラムの概要、スタッフ、スタッフ募集とトレーニング、キャンプ実施による効果、事業継続に向 けた課題とした。今年度は、5団体のインタビュー調査を実施することをできた。 主な結果は以下の通りである。 1)キャンプの対象は、知的障害・発達障害のある青少年、小児がんを含む慢性疾患の子供とそ の家族、児童養護施設に通う子どもたちなど多種多様であった。 2)団体設立の経緯としては、いずれもそれぞれが持つ個性に伴う様々な困難を解決するために、 自然の中での活動や仲間との交流が重要であると考えた保護者や支援者が団体を立ち上げ、NP O団体、任意団体の形で運営されていた。 3)キャンプの期間は日帰りから10泊まで、プログラムは団体の個性に応じて、冒険プログラム から野外料理、クラフトなど様々なプログラムが実施されていた。 3)キャンプの期間は日帰りから10泊まで、プログラムは団体の個性に応じて、冒険プログラム から野外料理、クラフトなど様々なプログラムが実施されていた。 5)事業継続に向けた課題として共通に挙げられたのは、設立時スタッフの世代交代に伴う人材 の確保、ボランティアの確保、財源の確保であった。特に、すべての費用を受益者負担で賄うこ とは事業の性質から難しく、助成金や、企業・個人からの寄付等事業収入以外の財源の確保がど の団体においても喫緊の課題であることが明らかになった。 Special needs is the term used in any of various difficulties (such as physical, mental, or developmental disabilities, diseases, illness or problems involving family or financial issues) that causes an individual to require additional or specialized services or accommodations (such as in education or recreation). The purpose of this study was to conduct an interview survey on the SNC organizations to clarify the implementation status of the SNC and the outcomes and issues of the camp. the main results are as follows. 1)The subjects of the camp were adolescents with intellectual and developmental disabilities, children with chronic diseases including childhood cancer and their families, and children attending nursing homes. 2)The camp period was from day trip to 10 days trip, and programs vary from adventure programs to outdoor cooking and crafts depending on the personality of the group. 3)The issues for the continuation of the camp were securing of human resources, securing of volunteers, securing of financial resources.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180074

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2018 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者 -	所属	体育研究所	職名	准教授	— 補助額	300 (A) ∓
	氏名	野口 和行	氏名(英語)	Kazuyuki Noguchi		
		 研	究課題(日本語	告)		1
持別な支援をが	み要とする人たう	ちを対象としたキャンプの教育				
		 石	「究課題(英訴	1)		
The outcomes	and issues of s	ummer camp for people with s		.,		
		1 7	开究成果実績の			
ぜった陪宅とい	広 宇 士+-(+ 22				+ 7 ~ · · · - II -	ブレロフィ
		済的な問題や家庭の問題なと のことをスペシャルニーズ・キ・				
		状況、キャンプ実施による効果				刈泳にイング
]体の概要、キャンプの対象、[既要、スタッフ、ス	スタッフ募集と
		る効果、事業継続に向けた課				
主な結果は以	下の通りである	5				
		害・発達障害のある青少年、小	・児がんを含む	慢性疾患の子供とその家族、	児童養護施設	に通う子ども
ちなど多種多様						
2)団体設立の	経緯としては、	いずれもそれぞれが持つ個性	に伴っ様々な			P仲間との交
に手両マセフト	キャッシュ レーザー キャック ション・ション ション ション・ション ション ション ション ション ション ション ション ション ション	い ナ !!! キ !! !! !! !! !! !! !! !! !! !! !!		- 四 什 の 形 云 浑 尚 ナね イ い ナ		
		や支援者が団体を立ち上げ、N ら 10 泊まで プログラムは団				たど样 ヶたづ
3)キャンプの其	明間は日帰りか	や支援者が団体を立ち上げ、N ら 10 泊まで、プログラムは団				など様々なプ
3) キャンプの期 グラムが実施さ	期間は日帰りか れていた。	ら 10 泊まで、プログラムは団	体の個性に応い	こて、冒険プログラムから野外	料理、クラフト	
3) キャンプの期 グラムが実施さ 4) スタッフはほ	期間は日帰りか れていた。	ら 10 泊まで、プログラムは団 生を中心としたボランティアに\$	体の個性に応い	こて、冒険プログラムから野外	料理、クラフト	
3) キャンプの携 グラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム	期間は日帰りか れていた。 そとんどが大学会の企画から関れ	ら 10 泊まで、プログラムは団 生を中心としたボランティアに\$	体の個性に応し 対して事前研修	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団	▶料理、クラフト [;] 体が、ボランテ	ィアが中心と
3)キャンプの規 グラムが実施さ 4)スタッフはほってプログラム 5)事業継続に 保であった。特	期間は日帰りか れていた。 とんどが大学生 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費	ら 10 泊まで、プログラムは団 まを中心としたボランティアにす つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 開を受益者負担で賄うことは	体の個性に応し 対して事前研修 立時スタッフの† 事業の性質かり	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ノ	ト料理、クラフト; 体が、ボランテ ボランティアの∂	ィアが中心と 寉保、財源の
3)キャンプの規 グラムが実施さ 4)スタッフはほってプログラム 5)事業継続に 保であった。特	期間は日帰りか れていた。 とんどが大学生 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費	ら 10 泊まで、プログラムは団 まを中心としたボランティアにす つっていた。 て共通に挙げられたのは、設ま	体の個性に応し 対して事前研修 立時スタッフの† 事業の性質かり	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ノ	ト料理、クラフト; 体が、ボランテ ボランティアの∂	ィアが中心と 寉保、財源の
3)キャンプの規 グラムが実施さ 4)スタッフはほ ってプログラム 5)事業継続に 保であった。特	期間は日帰りか れていた。 とんどが大学生 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費	ら 10 泊まで、プログラムは団 生を中心としたボランティアにな っっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 計用を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが	体の個性に応し 対して事前研修 立時スタッフの† 事業の性質かり	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ノ た。	ト料理、クラフト; 体が、ボランテ ボランティアの∂	ィアが中心と 寉保、財源の
3)キャンプの規 グラムが実施さ 4)スタッフはほってプログラム 5)事業継続に 保であった。特 の財源の確保;	期間は日帰りか れていた。 そんどが大学生の企画から関れ 向けた課題としに、すべての費 がどの団体にま	ら 10 泊まで、プログラムは団 生を中心としたボランティアにな っっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 計用を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが	体の個性に応し 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質から が明らかになっ 成果実績の概要	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ノ た。 要(英訳)	▶料理、クラフト: 体が、ボランテ ボランティアのӣ 人からの寄付等	ィアが中心と 霍保、財源の 三事業収入以
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム 5) 事業継続に 保であった。特 の財源の確保; Special needs i	期間は日帰りか れていた。 こんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま s the term use	ら 10 泊まで、プログラムは団 まを中心としたボランティアにす っっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 計を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であること 2.研究	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概 Such as physic	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ノ た。 要 (英訳) cal, mental, or developmental	ト料理、クラフト 体が、ボランテ ボランティアの 人からの寄付等 disabilities, dise	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 mases, illness
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム 5) 事業継続に 保であった。特 の財源の確保: Special needs i problems involv such as in edu	期間は日帰りか れていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま s the term use ving family or fin cation or recre	ら 10 泊まで、プログラムは団 Eを中心としたボランティアにな つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 用を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが 2.研究 d in any of various difficulties nancial issues) that causes an ation).	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概要 (such as physic individual to re	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個し た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized	▶料理、クラフト 体が、ボランテ ボランティアの積 人からの寄付等 disabilities, dise d services or ac	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 eases, illness ccommodatio
3) キャンプの判 グラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム 5) 事業継続に 保であった。特 の財源の確保: Special needs i problems involv such as in edu The purpose o	期間は日帰りか れていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま is the term use ing family or fin cation or recree f this study wa	ら 10 泊まで、プログラムは団 Eを中心としたボランティアにな つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 用を受益者負担で賄うことは Sいても喫緊の課題であることが 2.研究, d in any of various difficulties nancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概要 (such as physic individual to re	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個し た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized	▶料理、クラフト 体が、ボランテ ボランティアの積 人からの寄付等 disabilities, dise d services or ac	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 eases, illness ccommodatio
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム 5) 事業継続に 保であった。特 の財源の確保: Special needs i problems involv (such as in edu The purpose o SNC and the o	期間は日帰りか れていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま s the term use ring family or fin cation or recree f this study wa utcomes and is	ら 10 泊まで、プログラムは団 Eを中心としたボランティアにな つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 用を受益者負担で賄うことは Sいても喫緊の課題であることが 2.研究 d in any of various difficulties nancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp.	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概要 (such as physic individual to re	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個し た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized	▶料理、クラフト 体が、ボランテ ボランティアの積 人からの寄付等 disabilities, dise d services or ac	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 eases, illness ccommodatio
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム 5) 事業継続に 保であった。特 の財源の確保: Special needs i problems involv (such as in edu The purpose o SNC and the o the main result	期間は日帰りか れていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま s the term use ring family or fil cation or recre f this study wa utcomes and is s are as follows	ら 10 泊まで、プログラムは団 Eを中心としたボランティアにな つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 用を受益者負担で賄うことは Sいても喫緊の課題であることが 2.研究 d in any of various difficulties nancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s.	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概 な果実績の概 (such as physic individual to re vey on the SN	じて、冒険プログラムから野外 落行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個 た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the	▶料理、クラフト 体が、ボランテ ボランティアの んからの寄付等 disabilities, dise d services or a e implementatio	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 cases, illness coommodatio n status of t
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム 5) 事業総続に 保であった。特 の財源の確保: Special needs is problems involv Such as in edu The purpose of SNC and the o the main result 1) The subjects	期間は日帰りか れていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま s the term use ring family or fin cation or recree f this study wa utcomes and is s are as follows of the camp w	ら 10 泊まで、プログラムは団 Eを中心としたボランティアにな つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 用を受益者負担で賄うことは Sいても喫緊の課題であることが 2.研究 d in any of various difficulties nancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s. ere adolescents with intellect	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概 (such as physic individual to re vey on the SN ual and develop	じて、冒険プログラムから野外 落行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個 た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the	▶料理、クラフト 体が、ボランテ ボランティアの んからの寄付等 disabilities, dise d services or a e implementatio	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 cases, illness coommodatio n status of t
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフは目 ってプログラム 5) 事業継続に 保であった。特 の財源の確保; Special needs in problems involv Such as in edu The purpose of SNC and the o che main result 1) The subjects childhood canc	期間は日帰りか たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま s the term use ring family or fin cation or recree f this study wa utcomes and is s are as follows of the camp w er and their far	ら 10 泊まで、プログラムは団 Eを中心としたボランティアにな つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 用を受益者負担で賄うことは Sいても喫緊の課題であることが 2.研究 d in any of various difficulties nancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s.	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概 (such as physic individual to re vey on the SN ual and develop ursing homes.	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ム た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the omental disabilities, children w	ト料理、クラフト: 体が、ボランテ ボランティアのそ 人からの寄付等 disabilities, disa d services or a e implementatio vith chronic dis	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 cases, illness coommodatio n status of t eases includi
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフは目 ってプログラム 5) 事業総に 保であった。特 の財源の確保; Special needs in problems involv Such as in edu The purpose of SNC and the o che main result 1) The subjects childhood canc 2) The camp pe	期間は日帰りか たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま s the term use ring family or fin cation or recree f this study wa utcomes and is s are as follows of the camp w er and their far	ら 10 泊まで、プログラムは団 まを中心としたボランティアにな っていた。 て共通に挙げられたのは、設立 計を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが 2.研究 d in any of various difficulties hancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s. ere adolescents with intellect hilies, and children attending n day trip to 10 days trip, and	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概 (such as physic individual to re vey on the SN ual and develop ursing homes.	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ム た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the omental disabilities, children w	ト料理、クラフト: 体が、ボランテ ボランティアのそ 人からの寄付等 disabilities, disa d services or a e implementatio vith chronic dis	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 cases, illness coommodatio n status of t eases includi
3)キャンプの ダラムが実施さ 4)スタッフは目 ってプログラム 5)事業総に 保であった。特 の財源の確保; Special needs in problems involv Such as in edu The purpose of SNC and the o che main result 1)The subjects childhood canc 2)The camp per depending on t	期間は日帰りか たれていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての書 がどの団体にま s the term use ring family or fin cation or recree f this study wa utcomes and is s are as follows of the camp w er and their far eriod was from he personality of	ら 10 泊まで、プログラムは団 まを中心としたボランティアにな っていた。 て共通に挙げられたのは、設立 計を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが 2.研究 d in any of various difficulties hancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s. ere adolescents with intellect hilies, and children attending n day trip to 10 days trip, and	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概 (such as physic individual to re vey on the SN ual and develop ursing homes. programs var	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ム た。 要 (英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the omental disabilities, children w	・料理、クラフト: 体が、ボランテ ボランティアのそ 人からの寄付等 disabilities, disa d services or a e implementatio vith chronic dis co outdoor coo	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 cases, illness ccommodatio n status of t eases includi king and crat
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム 5) 事業継続に 保であった。特 の財源の確保: Special needs in problems involve Special needs in Special needs i	期間は日帰りか たれていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての書 がどの団体にま s the term use ring family or fin cation or recree f this study wa utcomes and is s are as follows of the camp w er and their far eriod was from he personality of	ら 10 泊まで、プログラムは団 まを中心としたボランティアにな っていた。 て共通に挙げられたのは、設立 開を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが 2.研究 d in any of various difficulties hancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s. erie adolescents with intellect hilies, and children attending n day trip to 10 days trip, and of the group.	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概 (such as physic individual to re vey on the SN ual and develop ursing homes. programs var	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ム た。 要 (英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the omental disabilities, children w	・料理、クラフト: 体が、ボランテ ボランティアのそ 人からの寄付等 disabilities, disa d services or a e implementatio vith chronic dis co outdoor coo	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 cases, illness ccommodatio n status of t eases includi king and crat
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム 5) 事業継続に 保であった。特 の財源の確保: Special needs in problems involve Special needs in Special needs i	期間は日帰りか たれていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての書 がどの団体にま s the term use ring family or fin cation or recree f this study wa utcomes and is s are as follows of the camp w er and their far eriod was from he personality of	ら 10 泊まで、プログラムは団 きを中心としたボランティアにな つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 用を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが 2.研究, d in any of various difficulties nancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s. ere adolescents with intellect nilies, and children attending n day trip to 10 days trip, and of the group. ation of the camp were sec	体の個性に応 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質か が明らかになっ 成果実績の概 (such as physic individual to re vey on the SN ual and develop ursing homes. programs var	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ん た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the omental disabilities, children w y from adventure programs t n resources, securing of vol	・料理、クラフト: 体が、ボランテ ボランティアのそ 人からの寄付等 disabilities, disa d services or a e implementatio vith chronic dis co outdoor coo	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 cases, illness ccommodatio n status of t eases includi king and crat
3) キャンプの ダラムが実施さ 4) スタッフはほ ってプログラム 5) 事業にに 保であった。特 の財源の確保; Special needs is problems involv (such as in edu The purpose o SNC and the o the main result 1) The subjects childhood canc 2) The camp per depending on t 3) The issues f resources.	期間は日帰りか たれていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま s the term use ring family or fin cation or recree f this study wa utcomes and is s are as follows of the camp w er and their far eriod was from he personality of for the continu	ら 10 泊まで、プログラムは団 きを中心としたボランティアにな つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 用を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが 2.研究, d in any of various difficulties nancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s. ere adolescents with intellect nilies, and children attending n day trip to 10 days trip, and of the group. ation of the camp were sec	体の個性に応じ 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質から が明らかになっ <mark> 成果実績の概</mark> Such as physic individual to re- vey on the SN ual and develop ursing homes. programs var uring of human 研究課題に関う	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個ん た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the omental disabilities, children w y from adventure programs t n resources, securing of vol	ト料理、クラフト: 体が、ボランティアのそ ボランティアのそ 人からの寄付等 disabilities, disa disabilities, disabilities, disab	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 asses, illness coommodatio n status of t eases includi king and crat ing of financ 第行年月
3) キャンプの 第 グラムが実施さ 4) スタッフは目 ってプログラム 5) 事業総にに 案であった。特 の財源の確保; 5) Pecial needs in problems involved Special needs in Special needs in	期間は日帰りか たれていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての書 がどの団体にま s the term use is are as follows of the camp w er and their far eriod was from he personality for the continu	ら 10 泊まで、プログラムは団 まを中心としたボランティアにな っていた。 て共通に挙げられたのは、設立 常用を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが 2. 研究 d in any of various difficulties hancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s. ere adolescents with intellect hilies, and children attending n day trip to 10 days trip, and of the group. ation of the camp were sec <u>3. 本征</u> <u>発表課題名</u> (著書名・演題)	体の個性に応じ 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質かい が明らかになっ 成果実績の概題 (such as physic individual to re- vey on the SN ual and develop ursing homes. programs var uring of human 研究課題に関す	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個人 た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the omental disabilities, children w y from adventure programs t n resources, securing of vol トる発表 発表学術誌名 著書発行所・講演学会)	ト料理、クラフト: 体が、ボランテ ボランティアの積 人からの寄付等 disabilities, disa disabilities, disabilities, disa disabilities, disabilities, disabiliti	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 asses, illness coommodatio n status of t eases includi king and crat ing of financ 第行年月
3) キャンプの 第 グラムが実施さ 4) スタッフは目 ってプログラム 5) 事あった。特 のす 第 のす 5) 事がに なっての 5) 事が 5) 事か 5) 事か	期間は日帰りか たれていた。 たんどが大学 の企画から関れ 向けた課題とし に、すべての費 がどの団体にま s the term use f this study wa utcomes and is s are as follows of the camp w er and their far eriod was from he personality of for the continu	ら 10 泊まで、プログラムは団 Eを中心としたボランティアにな つっていた。 て共通に挙げられたのは、設立 注用を受益者負担で賄うことは いても喫緊の課題であることが 2. 研究 d in any of various difficulties hancial issues) that causes an ation). s to conduct an interview sur sues of the camp. s. ere adolescents with intellect hilies, and children attending n day trip to 10 days trip, and of the group. ation of the camp were sec <u>3. 本征</u> <u>発表課題名</u> (著書名・演題) 特別なニーズを必要とする。	体の個性に応じ 対して事前研修 立時スタッフの 事業の性質かい が明らかになっ 成果実績の概題 (such as physic individual to re- vey on the SN ual and develop uring of human 研究課題に関す 人を取 日本福	じて、冒険プログラムから野外 を行っていた。5 団体中 3 団 世代交代に伴う人材の確保、7 ら難しく、助成金や、企業・個人 た。 要(英訳) cal, mental, or developmental of equire additional or specialized C organizations to clarify the omental disabilities, children w y from adventure programs t n resources, securing of vol トる発表 発表学術誌名 著書発行所・講演学会)	ト料理、クラフト: 体が、ボランテ ボランティアの積 人からの寄付等 disabilities, disa disabilities, disabilities, disa disabilities, disabilities, disabiliti	ィアが中心と 確保、財源の 事業収入以 asses, illness coommodatio n status of t eases includi king and crat ing of financ 第行年月